

第3次生物多様性おおいた県戦略 生物多様性指標一覧(18指標)

基本戦略Ⅰ 生態系の健全性の回復

	指標項目	指標設定の考え方	単位	R5(2023) 基準年	R12(2030) 目標年
1	おおいたの重要な自然共生地域 選定公表件数	生物多様性の理解促進や保全活動へつなげるため、身近な自然で生物多様性が保たれている又は希少な野生動植物が生息・生育している地域のうち、法的規制などが無い又は弱い地域を中心に選定・整理された生物情報などを県民に周知し、保全するための指標として設定	件	28	35
2	自然公園指導員の委嘱数	自然公園の保護・保全を促進するため、自然公園内で動植物の保護活動や普及啓発活動等を行う自然公園指導員の委嘱数を指標として設定	人	65	69
3	鳥獣保護区特別保護地区の面積	野生鳥獣を保護し、その生息・生育環境を保全するため、保護・管理体制の充実の指標として、特別保護地区の面積を設定	ha	658	658
4	河川の水質環境基準達成率	河川における水質の状況を把握するとともに、水質保全に係る施策の実施状況を評価するため、指標として設定	%	91	100
5	海域の水質環境基準達成率	海域における水質の状況を把握するとともに、水質保全に係る施策の実施状況を評価するため、指標として設定	%	94.7 (R4)	100 (R11)

基本戦略Ⅱ 自然を活用した地域づくりの推進

	指標項目	指標設定の考え方	単位	R5(2023) 基準年	R12(2030) 目標年
6	ジオガイドの認定者数(累計)	地域の自然環境や文化など多様な地域資源を活用し、地域の活性化を推進するため、地域の自然や文化等を紹介するジオパークを支える人材として、ジオガイドの認定者数を指標として設定	人	150	200
7	阿蘇くじゅう国立公園の公園利用者数(大分県分)	多様な地域資源を活用したエコツーリズムを推進するため、豊かな自然の活用状況を測る指標として設定	千人	3,242 (R4)	6,240 (R11)
8	農山漁村ツーリズム宿泊延べ人数	農山漁村ツーリズムの体験を通して、環境への関心や自然とのふれあいの機会増加を促進するため、指標として設定	人泊	5,000	5,620

基本戦略Ⅲ 自然が有する多様な機能の活用による社会課題の解決

	指標項目	指標設定の考え方	単位	R5(2023) 基準年	R12(2030) 目標年
9	自然共生地域コーディネーター派遣団体数	自然の多様な機能の活用により、自然と社会活動との調和を図っていくための指標として、コーディネーターを派遣した団体数を、指標として設定	団体	3	10
10	日本型直接支払協定面積	中山間地域を含めた農業・農村の多面的機能の維持・発揮に向けた地域の共同活動や農地・農業用施設の管理等の取組状況を把握するため、指標として設定	ha	41,121	41,914

基本戦略Ⅳ 事業活動における生物多様性への配慮～ネイチャーポジティブ経済に向けた取組～

	指標項目	指標設定の考え方	単位	R5(2023) 基準年	R12(2030) 目標年
11	企業との協働による自然環境活動の実施件数	企業による生物多様性保全の取組の促進を図るため、県と企業との協働による自然環境活動の実施件数を指標として設定	件	3	10
12	エコアクション21登録事業者数	企業の環境経営の推進のため、国の認証登録制度であるエコアクション21の登録は大きな意義があるため指標として設定	件	98	133

基本戦略Ⅴ 県民一人ひとりの生物多様性への認識と行動化

	指標項目	指標設定の考え方	単位	R5(2023) 基準年	R12(2030) 目標年
13	NPOとの協働による生物多様性保全活動の実施件数	自然を守り、育てるためには、専門性が高く、熱意や機動力があり、県民参加型の活動を多く取り入れているNPOと県が連携した保全活動を実施する必要があることから、その実施件数を指標として設定	件	111	111
14	生物多様性地域戦略策定市町村数(累計)	市町村による生物多様性への施策を推進するため、地域戦略策定市町村数を指標として設定	市町村	2	4
15	30by30アライアンス県内登録者数	行政、団体、事業者等がそれぞれの役割を踏まえ、協働して環境保全活動の推進を図るため、環境省の「生物多様性のための30by30アライアンス」県内登録者数を指標として設定	者	3	10
16	環境教育参加者数	あらゆる場・世代における環境教育を推進するため、グリーンアップおおいたアドバイザーによる環境講座や幼児向け環境劇等の環境教育参加者数を指標として設定	人	12,955	13,000
17	グリーンアップおおいた実践隊登録数(累計)	環境を守り活かす担い手づくりの増加につなげるため、環境保全団体登録数を把握する必要があることから、指標として設定	団体	-	130

基本戦略Ⅵ 調査・情報整備の推進

	指標項目	指標設定の考え方	単位	R5(2023) 基準年	R12(2030) 目標年
18	生態系、生育・生息状況調査県実施箇所数	生物多様性を保全、活用するための基盤として、現状や変化の把握が図られるよう、生育・生息状況調査等の実施箇所数を指標として設定	件	3	5